公認スポーツ指導者養成講習会共通科目
「コーチデベロッパー（コーチ育成者）」養成講習会
受講にあたっての留意事項

（１）受講申込～受講者決定まで

①養成講習会受講申込、受講希望者推薦

受講希望者は開催要項等を確認の上、個人調書を推薦団体へご提出ください。個人調書の内容に基づいて選考するため、詳細に記載ください。
推薦団体は受講希望者の取りまとめを行い、JSPOへ推薦をお願いいたします。

②選考結果（受講内定通知）発信、受講料納入

JSPOから推薦団体及び受講希望者本人に選考結果を通知いたします。
受講内定者には、受講料の支払い方法（各自で「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者マイページ」に登録・ログインの上で支払い）をご案内します。
受講料の支払いが確認できた時点で受講者として正式に決定となります。

（２）講習受講

①事前学習

受講決定後、具体的な内容についてお知らせいたします。事前学習では、コーチデベロッパー（CD）として最低限必要な知識について、自主学習で学んでいただきます。

②講習会、間の学習

レクチャーや受講者同士によるディスカッション、ファシリテーション実践を通して　CDとして必要な知識、スキルについて学んでいただきます。

※養成講習会（平成30年度）の映像をホームページにて公開しております。

URL: https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=3809

QRコード：

（３）修了判定～認定まで

開催要項の「修了要件」については、次の観点を踏まえて評価する予定です。
審査結果は、推薦団体及び受講者本人にJSPOから通知いたします。

公認スポーツ指導者養成講習会共通科目
「コーチデベロッパー(コーチ育成者)」養成講習会
受講にあたっての留意事項

CDに求められるスキルと知識

CD に求められるスキル	
●主体的な学びを支援するスキル （ファシリテーション）	・個人やグループとコミュニケーションをとる ・コーチの学習を加速させる ・ファシリテーションで学習者主体のアプローチをとる ・幅広い提供スタイル・方法を選択して使用し、学習機会を最大限生かす ・マイクロコーチングのセッションを設定して指導し、レビューを行う ・学習機会を最大限生かすセッションを計画して評価する ・問いかけ、傾聴、レビューのスキルを高める
●評価	・与えられた観点に基づいてコーチの評価を行う
●自身の省察	・自身の実践を評価し、発展させる ・自らの組織におけるコーチ育成者の責務を見極める
CD に求められる知識	
●JSPO 公認スポーツ指導者制度	・「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度」の概要 ・JSPO 及び競技団体等が認定する資格の種類と役割及び権利と責務 ・JSPO 及び競技団体等が認定する資格のカリキュラム相関、取得方法、更新条件
●JSPO の目指すグッドコーチ像	・スポーツ宣言日本 ・公認スポーツ指導者育成基本方針 ・グッドコーチ像の理解を深めるための事項
●養成講習会	・養成講習会の流れ ・共通科目集合講習会の目的、内容、到達目標 ・リファレンスブックの内容、効果的な使用法

(４)認定後

修了者には、JSPO認定CDとして、次年度以降、共通科目Ⅱ・Ⅲ講習会・各種指導者研修会の講師等への対応にご協力をいただくこととなります。

その際に、ご本人から承諾をいただいた連絡先情報を実施団体に共有する場合がありますので、予めご承知おきください。

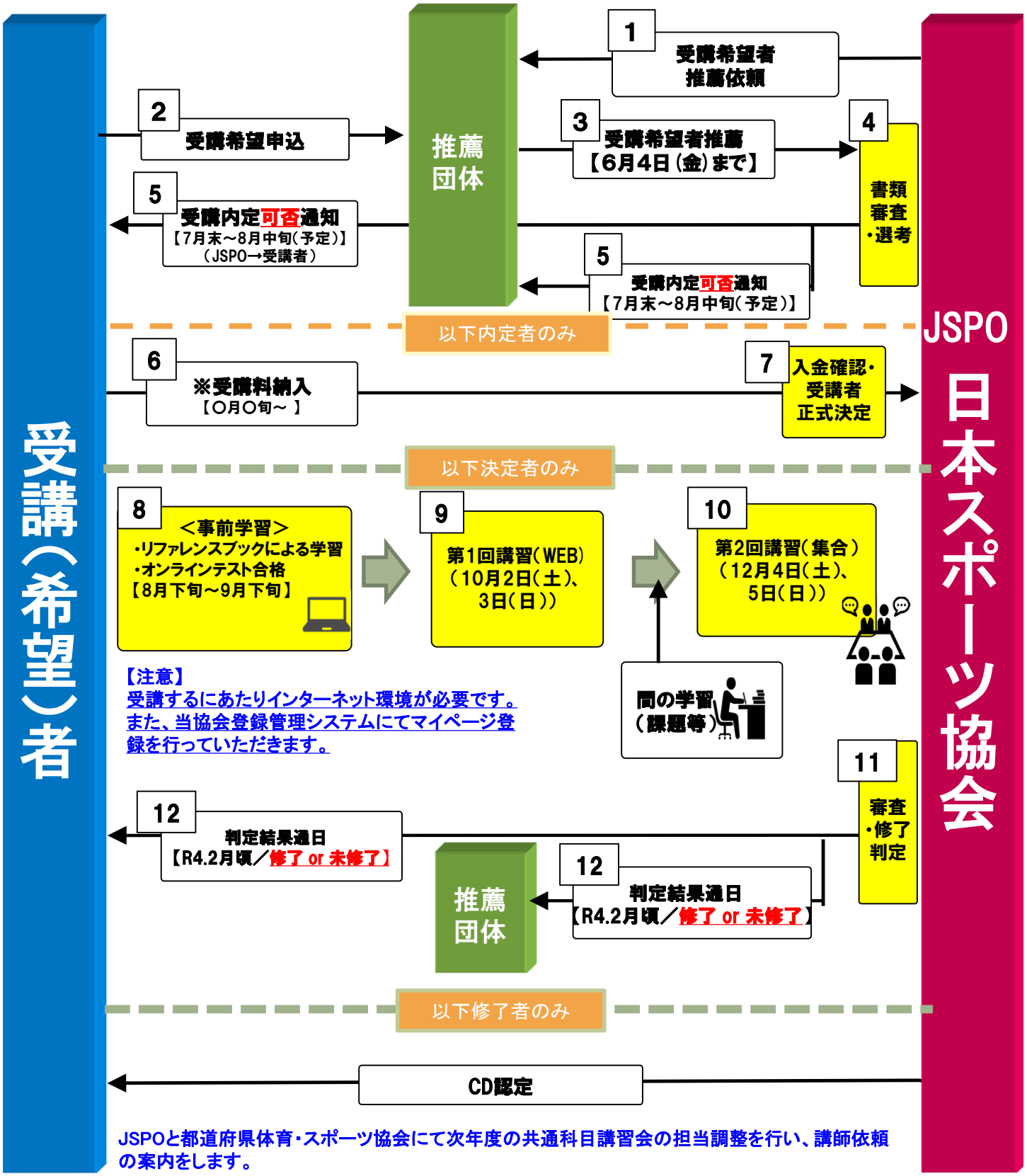
共通科目Ⅱ・Ⅲ講習会は例年、年間10～15会場程度開催しており、年間2会場前後のご担当をお願いしております。講習会では、受講者のうち8～10名程度の担当者として、複数名のCDと協力をしながら受講者の学びを支援する役割を担っていただきます。

なお、同講習会は、令和2年度以降オンライン形態で実施しております。今後の実施形態は社会状況を見ながら、毎年度末に確定をしてまいります。

また、今後、CD認定後における講習会の担当状況やCDを対象とした研修への参加実績をもとに、一定の年限ごとにCDとしての認定の継続について審査していく予定としております。

詳細については、決まりました際にお知らせいたします。

CD 受講の流れ



※上記については、本資料作成時点の予定となり、記載内容に変更が生じる場合がありますことを予めご了承お願いいたします。

【参考】　公認スポーツ指導者育成基本方針

公認スポーツ指導者育成の基本コンセプト
日本スポーツ協会及び加盟団体等は、スポーツ文化を豊かに享受するというすべての人々がもつ基本的な権利を保障するため、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を公認スポーツ指導者として育成し、望ましい社会の実現に貢献する。

公認スポーツ指導者とは
スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタード＊の考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる者である。

●公認スポーツ指導者が目指すグッドコーチ像

人物像	キーワード
スポーツを愛し、その意義と価値を自覚し、尊重し、表現できる人	人が好き、スポーツが好き、スポーツの意義と価値の理解
グッドプレーヤーを育成することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることができる人	プレーヤーやスポーツの未来に責任を持つ
プレーヤーの自立やパフォーマンスの向上を支援するために、常に自身を振り返りながら学び続けることができる人	課題発見・課題解決、自立支援、プレーヤーのニーズ充足、卓越した専門知識(スポーツ教養含)、内省、 継続した自己研鑽
いかなる状況においても、前向きかつ直向きに取り組みながら、プレーヤーと共に成長することができる人	逆境・困難に打ち克つ力、ポジティブシンキング、 真摯さ、継続性、同情・共感、対象に合わせたコーチング
プレーヤーの生涯を通じた人間的成長を長期的視点で支援することができる人	プレーヤーズセンタード、プレーヤーのキャリア形成・人間的成長、中長期的視点
いかなる暴力やハラスメントも行使・容認せず、プレーヤーの権利や尊厳、人格を尊重し、公平に接することができる人	暴力・ハラスメント根絶、相互尊敬（リスペクト）、公平・公正さ
プレーヤーが、社会の一員であることを自覚し、模範となる態度・行動をとれるよう導くことができる人	社会の中の自己認識、社会規範・モラルの理解・遵守、暴力・ハラスメント根絶意識のプレーヤーへの伝達
プレーヤーやプレーヤーを支援する関係者（アントラージュ）が、お互いに感謝・信頼し合い、かつ協力・協働・協調できる環境をつくることができる人	社会との関係・環境構築、チームプレー、感謝・信頼、協力・協働・協調